

平成 29 年度 PRTR データの概要（千葉市内分）について  
 —化学物質の排出量・移動量の集計結果—

平成 11 年 7 月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（化学物質排出把握管理促進法又は PRTR 法）に基づき、国あてに事業者から届出があった平成 29 年度分の千葉市内の化学物質の排出量・移動量について、本年 3 月 5 日に国が公表したデータを基に市独自に集計した結果がまとまりましたので公表します。

今回は、同法施行後 17 回目の集計結果の公表で、その概要は以下に示すとおりです。

なお、国のホームページでは、個別事業所から届出のあった排出量等のデータ及び届出対象外の排出量の推計値を閲覧できます。

※ PRTR データに関するホームページ：<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

## I 平成 29 年度 PRTR データの集計結果

### 1. 集計結果の概要

#### (1) 届出事業所数（詳細は P.2）

千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
158 事業所（12.6%）	1,250 事業所	34,253 事業所

#### (2) 届出排出量・移動量（詳細は P.3）

	千葉市（県内全体に占める割合）	千葉県	全国
届出排出量*	585 トン（11.0%）	5,341 トン	152 千トン
届出移動量*	1,838 トン（13.1%）	13,988 トン	235 千トン
届出排出量・移動量*	2,423 トン（12.5%）	19,329 トン	387 千トン

※ダイオキシン類を除く（これ以降の届出排出量及び移動量も同様）

#### (3) 千葉市内で届出排出量・移動量が多い物質（詳細は P.7 及び 8）

届出排出量 上位 3 物質（総排出量比）	① ノルマル - ヘキサン	138 トン（23.5%）
	② キシレン	123 トン（21.1%）
	③ トルエン	83 トン（14.1%）
届出移動量 上位 3 物質（総移動量比）	① クロム及び三価クロム化合物	1,101 トン（59.9%）
	② キシレン	137 トン（7.4%）
	③ マンガン及びその化合物	131 トン（7.1%）

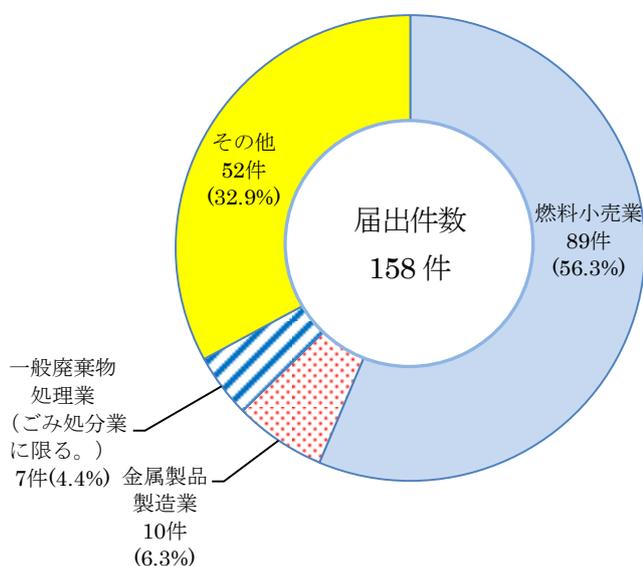
## 2. 行政区・業種別の届出状況

本市においては、25業種・158事業所から届出があり、燃料小売業からの届出数が全体の56.3%を占めています。また、行政区別では、中央区が最も多く28.5%を占め、次いで美浜区、花見川区及び若葉区となっています。

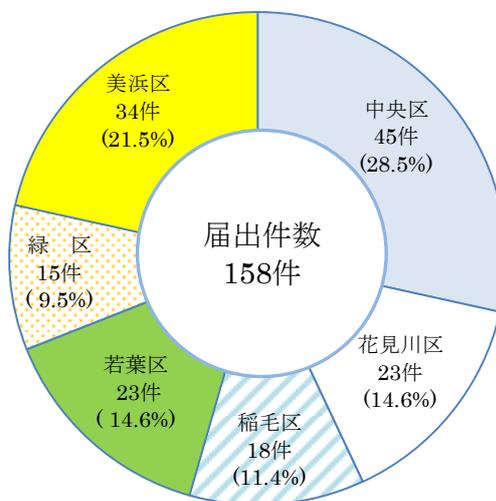
(単位:事業所数、%)

業種名	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計	割合
金属鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
原油・天然ガス鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
製造業	16	4	5	2	2	9	38	24.1
食料品製造業	0	0	0	0	0	4	4	
飲料・たばこ・飼料製造業	0	0	0	0	0	0	0	
酒類製造業	0	0	0	0	0	0	0	
たばこ製造業	0	0	0	0	0	0	0	
繊維工業	0	0	0	0	0	0	0	
衣服・その他の繊維製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
木材・木製品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
家具・装備品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
出版・印刷・同関連産業	0	0	0	0	0	0	0	
化学工業	1	0	0	0	0	1	2	
塩製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医薬品製造業	0	0	0	0	0	1	1	
農薬製造業	0	0	0	0	0	0	0	
石油製品・石炭製品製造業	2	0	0	0	0	0	2	
プラスチック製品製造業	1	0	0	0	0	1	2	
ゴム製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
なめし革・同製品・毛皮製造業	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石製品製造業	1	0	0	1	0	0	2	
鉄鋼業	3	0	0	0	0	0	3	
非鉄金属製造業	2	0	2	0	0	0	4	
金属製品製造業	6	1	1	0	1	1	10	
一般機械器具製造業	0	1	2	0	1	0	4	
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電子応用装置製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電気計測器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
輸送用機械器具製造業	0	0	0	1	0	1	2	
鉄道車両・同部分品製造業	0	0	0	0	0	0	0	
船舶製造・修理業、船用機関製造業	0	0	0	0	0	0	0	
精密機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	
医療用機械器具・医療用品製造業	0	1	0	0	0	0	1	
武器製造業	0	0	0	0	0	0	0	
その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	
電気業	1	0	0	0	0	0	1	0.6
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
下水道業	1	0	0	0	0	2	3	1.9
鉄道業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
倉庫業	0	0	0	0	0	3	3	1.9
石油卸売業	1	0	0	0	0	1	2	1.3
鉄スクラップ卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
燃料小売業	22	15	11	16	11	14	89	56.3
洗濯業	0	0	0	1	0	2	3	1.9
写真業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
自動車整備業	0	0	0	0	0	2	2	1.3
機械修理業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
商品検査業	0	1	0	0	0	0	1	0.6
計量証明業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る。)	1	1	0	4	0	1	7	4.4
産業廃棄物処分量	1	1	0	0	0	0	2	1.3
特別管理産業廃棄物処分量	0	0	0	0	0	0	0	0.0
医療業	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	1	0	1	0	0	0	2	1.3
自然科学研究所	1	1	1	0	2	0	5	3.2
合計	45	23	18	23	15	34	158	100.0

届出件数割合（業種別）



届出件数割合（区別）



### 3. 届出排出量・移動量の集計結果

#### (1) 届出排出量・移動量の内訳

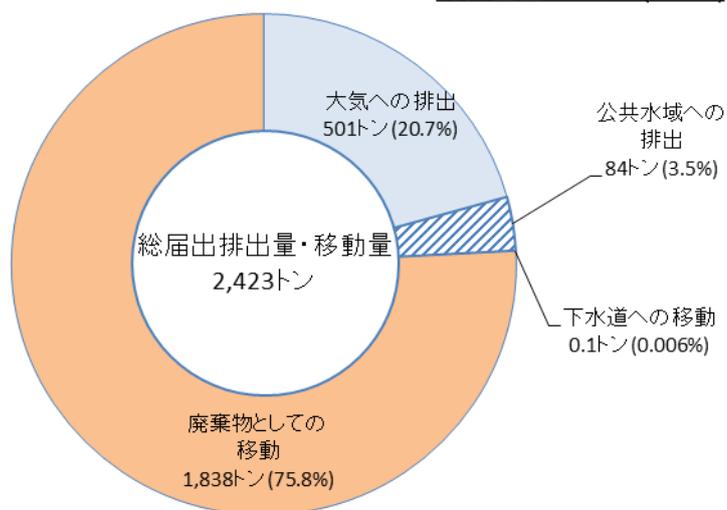
事業所から届出のあった総排出量及び総移動量の内訳は下図のとおりです。

排出量では、大気への排出が最も多く 501 トンで、全体の 20.7% を占めており、移動量では、そのほとんどが廃棄物としての移動で 1,838 トンでした。また、土壌への搬出及び事業所内における埋立処理の届出はありませんでした。

#### 届出排出量・移動量の割合

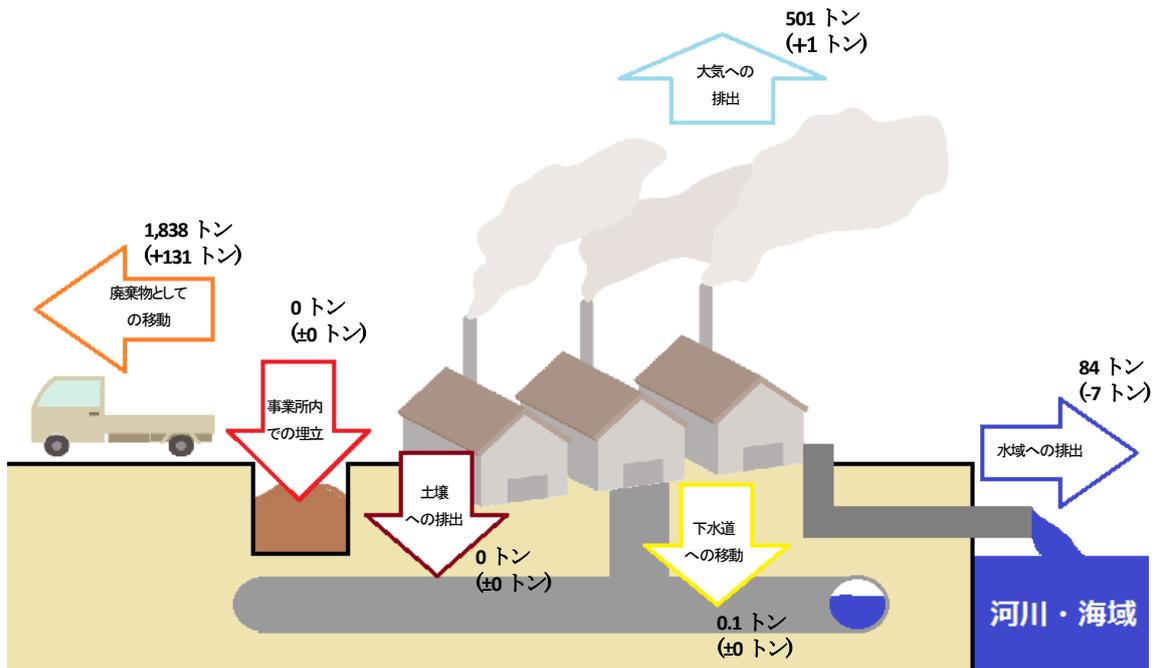
総移動量: 1,838 トン (75.8%)

総排出量: 585 トン (24.2%)



※ ( ) 内は、総届出排出量・移動量に対する比率

## 排出量・移動量の区分



※ ( ) 内は、前年度比

### (2) 行政区別の排出量・移動量

行政区別では、中央区が最も多く 70.9%を占め、次いで美浜区、稲毛区となっています。

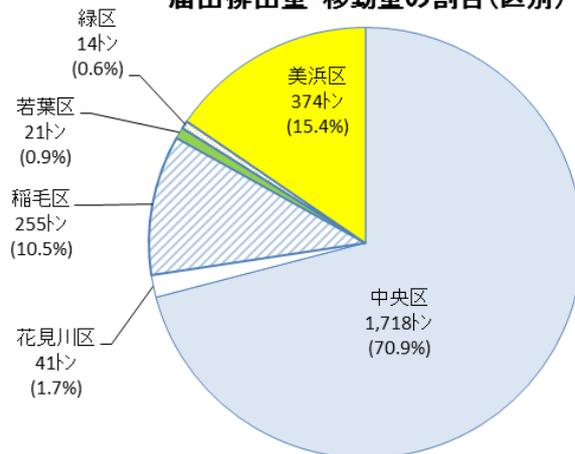
区名	排出量(kg/年) <sup>※1</sup>					移動量(kg/年) <sup>※2</sup>			排出・移動量の合計 <sup>※3</sup>	割合(%)
	大気	水域	土壌	埋立	合計 <sup>※3</sup>	下水道	廃棄物	合計 <sup>※3</sup>		
中央区	171,420	60,440	0	0	231,860	0	1,486,502	1,486,502	1,718,362	70.9
花見川区	35,604	2	0	0	35,606	0	5,530	5,530	41,136	1.7
稲毛区	91,916	0	0	0	91,916	0	162,690	162,690	254,606	10.5
若葉区	18,344	270	0	0	18,614	0	2,120	2,120	20,734	0.9
緑区	10,759	0	0	0	10,759	0	3,700	3,700	14,459	0.6
美浜区	173,321	23,211	0	0	196,532	144	177,098	177,242	373,774	15.4
合計	501,363	83,922	0	0	585,285	144	1,837,640	1,837,785	2,423,070	100.0
割合(%)	20.7	3.5	0	0	24.2	0.006	75.8	75.8	100.0	

※1 大気：大気への排出 水域：公共用水域への排出 土壌：事業所内の土壌への排出 埋立：事業所内の埋立処分

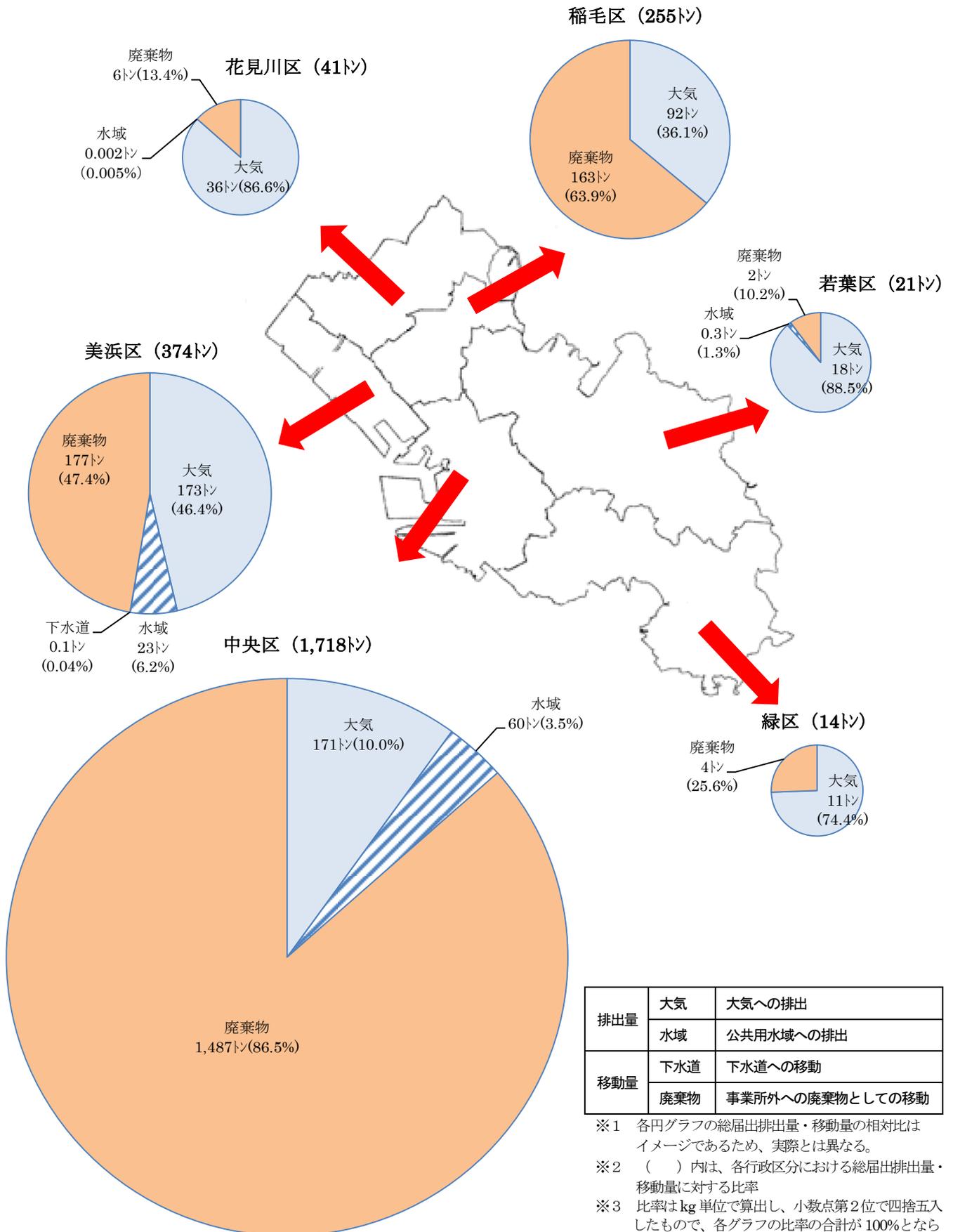
※2 下水道：下水道への移動 廃棄物：事業所外への廃棄物としての移動

※3 排出量・移動量の合計は、各事業所からの届けられた該当データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合がある。

### 届出排出量・移動量の割合(区別)



## 各行政区別の届出排出量・移動量の割合



排出量	大気	大気への排出
	水域	公共用水域への排出
移動量	下水道	下水道への移動
	廃棄物	事業所外への廃棄物としての移動

- ※1 各円グラフの総届出排出量・移動量の相対比はイメージであるため、実際とは異なる。
- ※2 ( ) 内は、各行政区分における総届出排出量・移動量に対する比率
- ※3 比率はkg単位で算出し、小数点第2位で四捨五入したもので、各グラフの比率の合計が100%とならない場合がある。

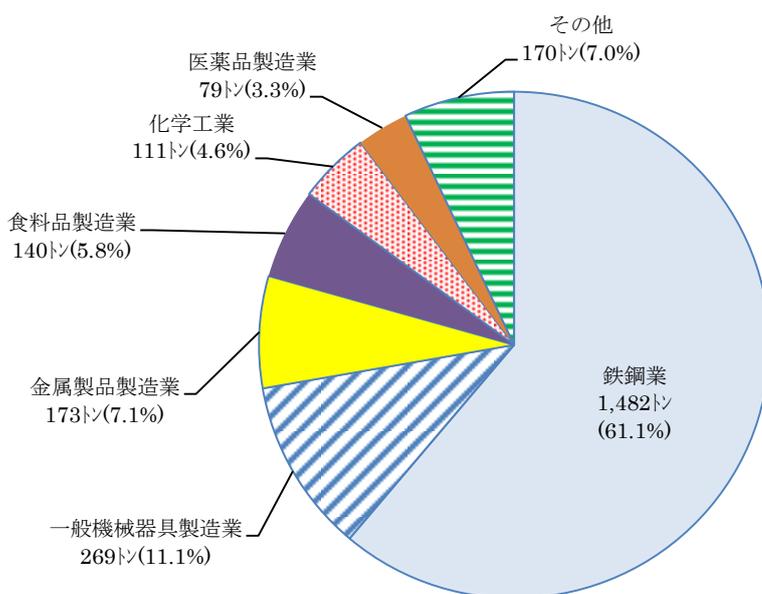
### (3) 業種別排出量・移動量

業種別の届出排出量・移動量の集計した結果が以下のとおりであり、鉄鋼業が最も多く 61.1%を占め、次いで一般機械器具製造業、金属製品製造業となっています。また、鉄鋼業の主な排出先・移動先は、事業所外への廃棄物としての移動でした。

業種名	届出数	排出量(kg/年) <sup>※1</sup>					移動量(kg/年) <sup>※2</sup>			排出量・移動量の合計 <sup>※3</sup>	割合(%)
		大気	水域	土壌	埋立	合計 <sup>※3</sup>	下水道	廃棄物	合計 <sup>※3</sup>		
製造業	38	468,306	52,375	0	0	520,681	4	1,796,014	1,796,018	2,316,701	95.6
食料品製造業	4	138,300	0	0	0	138,300	0	1,400	1,400	139,700	5.8
木材・木製品製造業	1	8,300	0	0	0	8,300	0	770	770	9,070	0.4
化学工業	2	149	0	0	0	149	4	110,630	110,634	110,784	4.6
医薬品製造業	1	18,170	0	0	0	18,170	0	61,300	61,300	79,470	3.3
石油製品・石炭製品製造業	2	3,239	0	0	0	3,239	0	1,810	1,810	5,049	0.2
プラスチック製品製造業	2	0	90	0	0	90	0	0	0	90	0.0
窯業・土石製品製造業	2	159	0	0	0	159	0	288	288	447	0.0
鉄鋼業	3	61,432	52,284	0	0	113,716	0	1,367,984	1,367,984	1,481,700	61.1
非鉄金属製造業	4	850	0	0	0	850	0	30,921	30,921	31,771	1.3
金属製品製造業	10	111,540	1	0	0	111,541	0	61,311	61,311	172,853	7.1
一般機械器具製造業	4	109,450	0	0	0	109,450	0	159,600	159,600	269,050	11.1
輸送用機械器具製造業	2	12,317	0	0	0	12,317	0	0	0	12,317	0.5
医療用機械器具・医療用品製造業	1	4,400	0	0	0	4,400	0	0	0	4,400	0.2
電気業	1	0	0	0	0	0	0	23,000	23,000	23,000	0.9
下水道業	3	0	31,096	0	0	31,096	0	0	0	31,096	1.3
倉庫業	3	1,170	0	0	0	1,170	0	0	0	1,170	0.0
石油卸売業	2	122	0	0	0	122	0	17	17	139	0.0
燃料小売業	89	22,276	0	0	0	22,276	0	0	0	22,276	0.9
洗濯業	3	2,380	0	0	0	2,380	140	3,300	3,440	5,820	0.2
自動車整備業	2	6,300	0	0	0	6,300	0	91	91	6,391	0.3
商品検査業	1	1	0	0	0	1	0	2,000	2,000	2,001	0.1
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る。)	7	0	451	0	0	451	0	0	0	451	0.0
産業廃棄物処分量	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等教育機関	2	809	0	0	0	809	0	11,900	11,900	12,709	0.5
自然科学研究所	5	0	0	0	0	0	0	1,318	1,318	1,318	0.1
全業種合計	158	501,363	83,922	0	0	585,285	144	1,837,640	1,837,785	2,423,070	100.0
割合(%)		20.7	3.5	0.0	0.0	24.2	0.006	75.8	75.8	100.0	

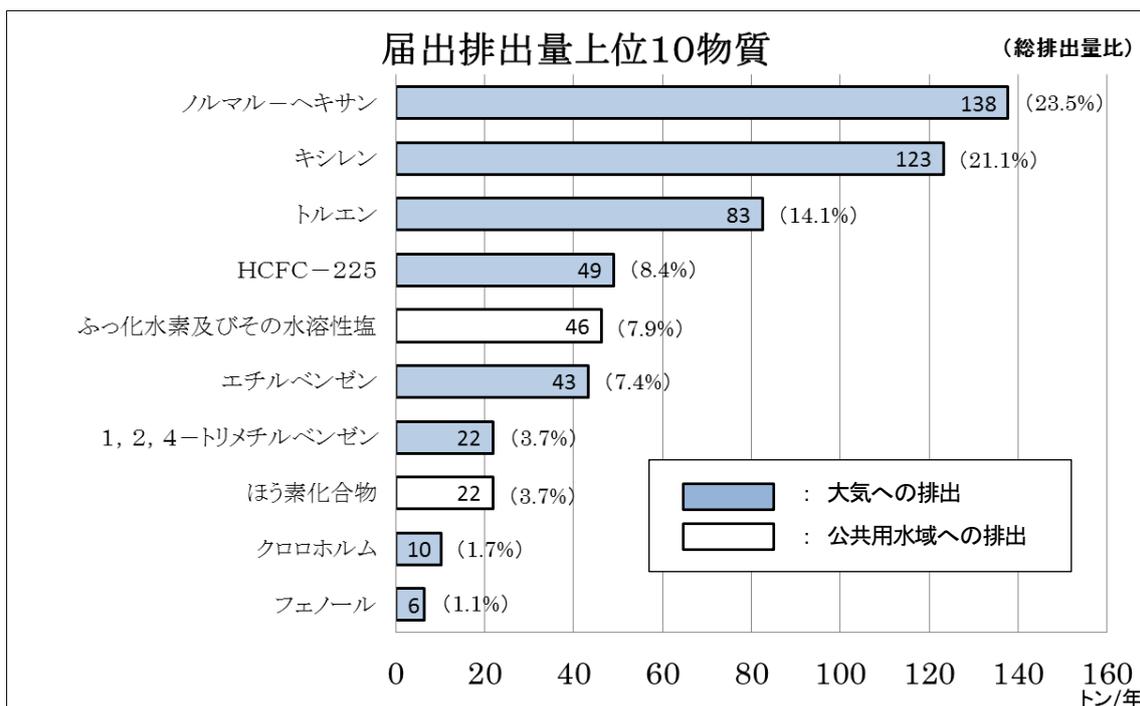
※1～3については、3(2)行政区別の排出量・移動量と同じ

### 届出排出量・移動量の割合(業種別)



(4) 届出排出量の中で多い物質

届出排出量上位 10 物質の合計は 542 トンで、総届出排出量 585 トンの 92.7%にあたります。



※ HCFC-225 は、ジクロロペンタフルオロプロパンのことである。(これ以降も同様)

※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

**届出排出量上位 5 物質の主な業種と各物質の一般的な用途**

順位	物質名	主な業種	届出排出量(kg)	主な用途
1	ノルマルーヘキサン	食料品製造業	120,000	溶剤
		燃料小売業	13,261	
		医薬品製造業	3,200	
2	キシレン	一般機械器具製造業	68,600	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	39,300	
		輸送用機械器具製造業	6,107	
3	トルエン	一般機械器具製造業	26,400	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
		金属製品製造業	19,420	
		食料品製造業	14,000	
4	HCFC-225 <sup>※1</sup>	鉄鋼業	49,000	洗浄剤
5	ふっ化水素及びその水溶性塩	鉄鋼業	39,000	合成原料、金属・ガラスの表面処理剤等
		下水道業	7,000	
		一般廃棄物処理業 (ごみ処分量に限る。)	243	

※1 HCFC-225 については、1 業種のみから届出があった。

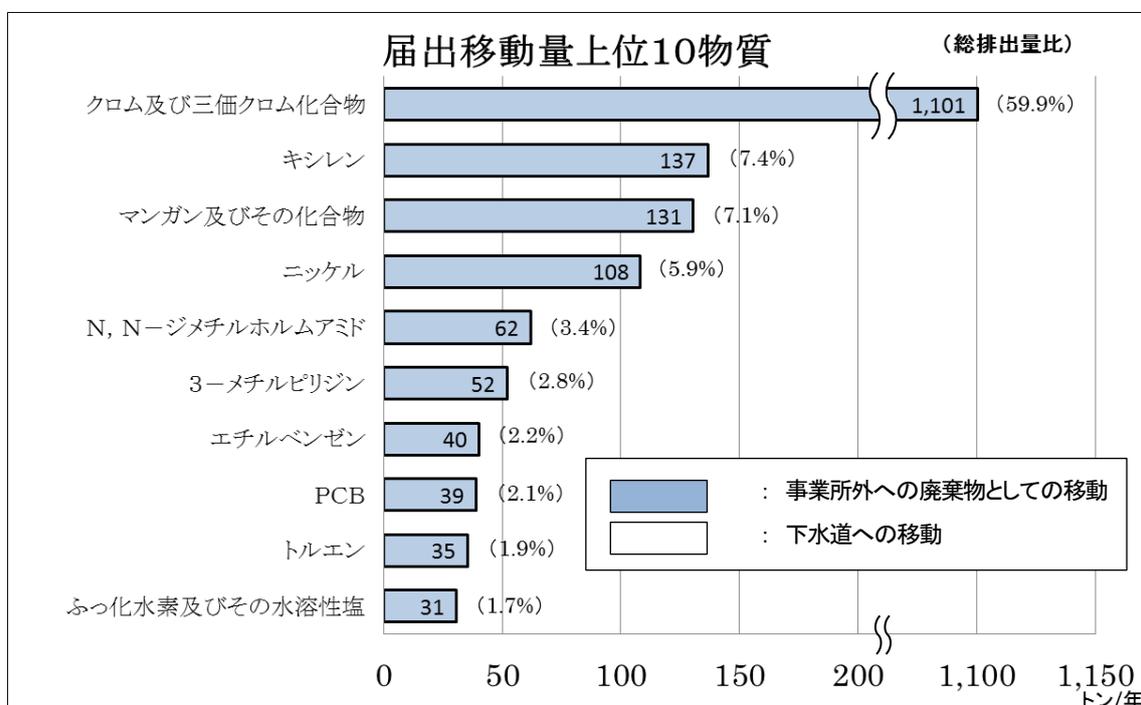
### 区別届出排出量上位5物質

(単位：kg)

区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	①HCFC-225	49,000	若葉区	①キシレン	6,259
	②キシレン	40,122		②トルエン	6,039
	③ふっ化水素及びその水溶性塩	39,084		③ノルマルーヘキサン	2,788
	④エチルベンゼン	27,997		④テトラクロロエチレン	1,500
	⑤1, 2, 4-トリメチルベンゼン	20,058		⑤エチルベンゼン	1,340
花見川区	①トルエン	15,629	緑区	①トルエン	5,594
	②キシレン	7,846		②キシレン	2,496
	③フェノール	6,300		③ノルマルーヘキサン	1,717
	④ノルマルーヘキサン	2,422		④エチルベンゼン	764
	⑤エチレングリコールモノエチルエーテル	2,000		⑤ベンゼン	163
稲毛区	①キシレン	60,985	美浜区	①ノルマルーヘキサン	125,024
	②トルエン	15,263		②トルエン	22,175
	③エチルベンゼン	10,922		③ほう素化合物	11,100
	④1, 2, 4-トリメチルベンゼン	1,721		④クロロホルム	10,000
	⑤ノルマルーヘキサン	1,714		⑤ふっ化水素及びその水溶性塩	7,000

#### (5) 届出移動量の中で多い物質

届出移動量上位10物質の合計は1,735トンで、総届出移動量1,838トンの94.4%にあたります。



※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

### 届出移動量上位 5 物質の主な業種と各物質の一般的な用途

順位	物質名	主な業種	届出移動量(kg)	主な用途
1	クロム及び三価クロム化合物※1	鉄鋼業	1,100,000	ステンレス鋼、メッキ、顔料等
		金属製品製造業	520	
2	キシレン	一般機械器具製造業	121,100	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤
		金属製品製造業	11,270	
		鉄鋼業	3,100	
3	マンガン及びその化合物※2	鉄鋼業	130,000	特殊鋼、電池、磁性材料、酸化剤
		金属製品製造業	550	
4	ニッケル	鉄鋼業	79,000	メッキ、磁性材料、ステンレス鋼、ニッケル鋼
		非鉄金属製造業	28,000	
		食料品製造業	1,100	
5	N,N-ジメチルホルムアミド※3	化学工業	58,002	溶剤、試薬、ガス吸収剤
		医薬品製造業	3,900	

※1 クロム及び三価クロム化合物については、2業種のみから届出があった。

※2 マンガン及びその化合物については、2業種のみから届出があった。

※3 N,N-ジメチルホルムアミドについては、2業種のみから届出があった。

### 区別届出移動量上位 5 物質

(単位 : kg)

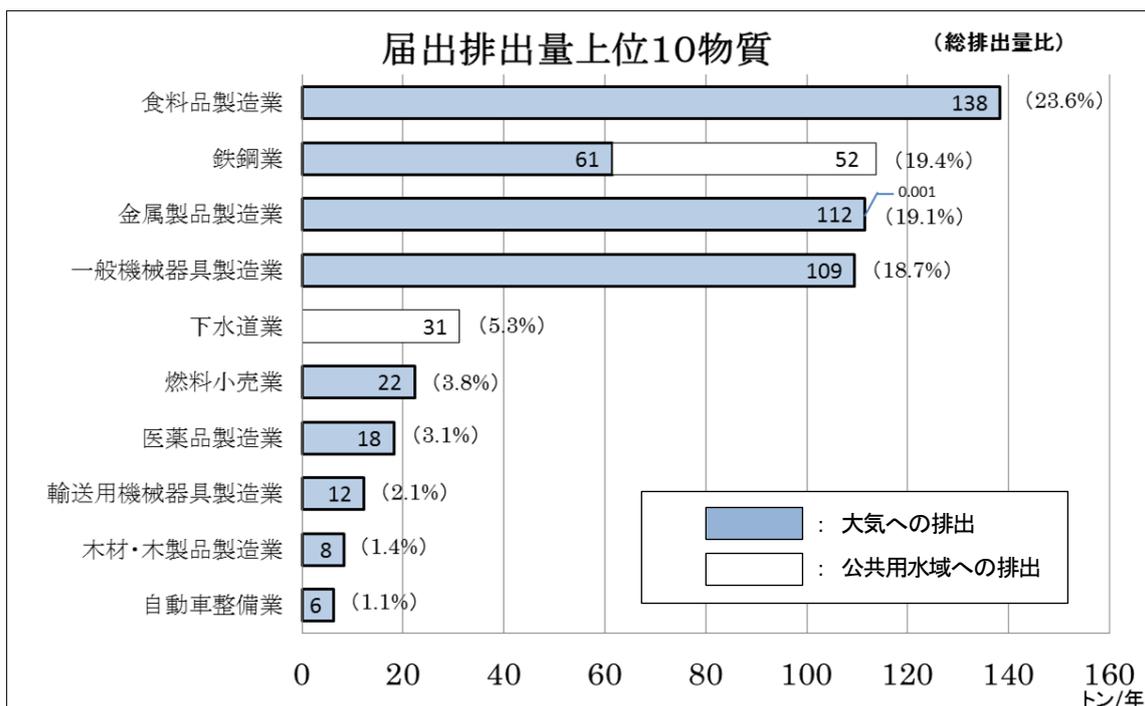
区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	①クロム及び三価クロム化合物	1,100,520	若葉区 ※1	①テトラクロロエチレン	2,000
	②マンガン及びその化合物	130,200		②フェノール	120
	③ニッケル	107,018	緑区 ※2	①トルエン	3,320
	④PCB	39,000		②エチルベンゼン	280
	⑤ふっ化水素及びその水溶性塩	30,510		③キシレン	100
花見川区	①トルエン	3,500	美浜区	①N, N-ジメチルホルムアミド	61,902
	②キシレン	1,100		②3-メチルピリジン	52,002
	③フェノール	480		③クロロホルム	25,000
	④エチレンジクロールモノエチルエーテル	290		④トルエン	11,068
	⑤エチルベンゼン	160		⑤ノルマル-ヘキサン	8,003
稲毛区	①キシレン	120,000			
	②エチルベンゼン	27,000			
	③トルエン	7,300			
	④ノルマル-デシルアルコール	2,700			
	⑤ノルマル-ヘキサン	2,100			

※1 若葉区の移動量については、2物質のみの届出があった。

※2 緑区の移動量については、3物質のみの届出があった。

(6) 届出排出量の中で多い業種

届出排出量上位 10 業種の合計は 571 トンで、総届出排出量 585 トンの 97.6%にあたります。



※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別業種別届出排出量上位5種

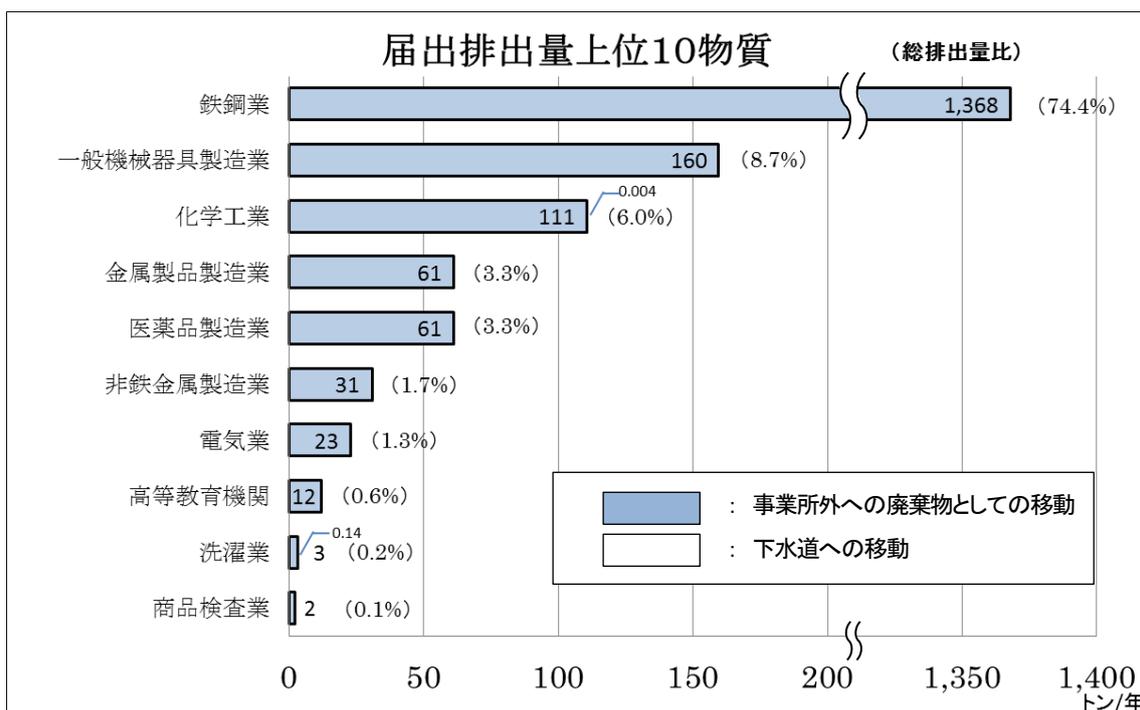
(単位：kg)

区名	物質名	届出排出量	区名	物質名	届出排出量
中央区	①鉄鋼業	113,716	若葉区	①輸送用機械器具製造業	12,100
	②金属製品製造業	100,954		②燃料小売業	4,634
	③下水道業	7,885		③洗濯業	1,500
	④燃料小売業	5,272		④一般廃棄物処理業 (ごみ処分業に限る。)	270
	⑤石油製品・石炭製品製造業	3,239		⑤窯業・土石製品製造業	110
花見川区	①一般機械器具製造業	18,800	緑区	①金属製品製造業	5,540
	②木材・木製品製造業	8,300		②燃料小売業	2,819
	③医療用機械器具・医療用品製造業	4,400		③一般機械器具製造業	2,400
	④燃料小売業	4,103			
	⑤金属製品製造業	1			
	⑤商品検査業	1			
稲毛区	①一般機械器具製造業	88,250	美浜区	①食料品製造業	138,300
	②燃料小売業	2,436		②下水道業	23,211
	③非鉄金属製造業	850		③医薬品製造業	18,170
	④高等教育機関	334		④自動車整備業	6,300
	⑤金属製品製造業	46		⑤金属製品製造業	5,000

※1 緑区の排出量については、3業種のみから届出があった。

(7) 届出移動量の中で多い業種

届出移動量上位 10 業種の合計は 1,832 トンで、総届出移動量 1,838 トンの 99.7%にあたります。



※ 集計値については、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、数の合計値と数値が異なる場合がある。

区別届出移動量上位 5 業種

(単位 : kg)

区名	物質名	届出移動量	区名	物質名	届出移動量
中央区	①鉄鋼業	1,367,984	若葉区 ※3	①洗濯業	2,000
	②金属製品製造業	57,301		②窯業・土石製品製造業	120
	③非鉄金属製造業	28,221			
	④電気業	23,000	緑区 ※4	①金属製品製造業	1,300
	⑤高等教育機関	8,000		②自然科学研究所	1,300
		③一般機械器具製造業		1,100	
花見川区 ※1	①一般機械器具製造業	2,760	美浜区	①化学工業	110,634
	②商品検査業	2,000		②医薬品製造業	61,300
	③木材・木製品製造業	770		③金属製品製造業	2,360
				④洗濯業	1,440
				⑤食料品製造業	1,400
稲毛区 ※2	①一般機械器具製造業	155,740			
	②高等教育機関	3,900			
	③非鉄金属製造業	2,700			
	④金属製品製造業	350			

※1、4 花見川区及び緑区の移動量については、3業種のみから届出があった。

※2 稲毛区の移動量については、4業種のみから届出があった。

※3 若葉区の移動量については、2業種のみから届出があった。

## Ⅱ 平成29年度データと前年度までのデータの比較

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に基づき事業者から届出のあった排出量及び移動量の集計結果は、以下のとおりです。

### 1. 届出事業所数

届出のあった事業所数は、下表のとおりで、平成29年度は158事業所で前年度より6事業所減少しました。

### 2. 届出排出量・移動量

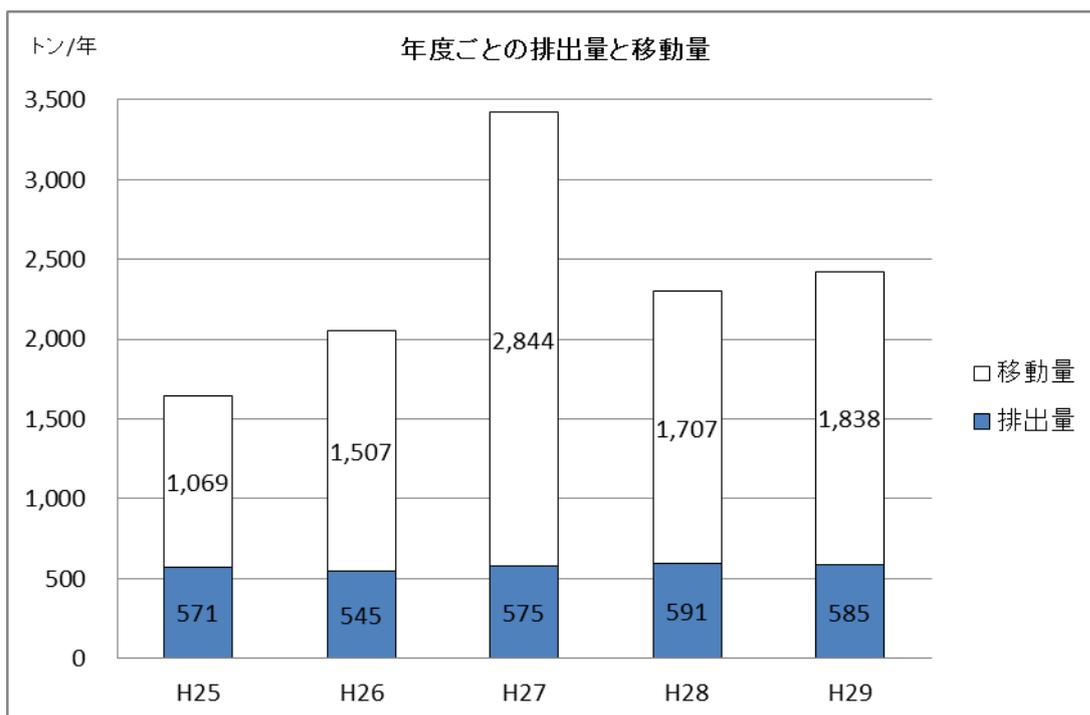
平成29年度分の届出排出量・移動量の合計は2,423トンで前年度より126トン増加しました。排出量については585トンで前年度より5トン減少、移動量については1,838トンで前年度より131トン増加しました。

### 届出排出量・移動量の経年変化

単位:kg/年

排出先		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	前年度比増減
排出量	大気	501,091	487,078	485,859	499,962	501,363	+1,401
	公共用水域	69,825	57,620	89,370	90,807	83,922	-6,885
	土壌	0	0	0	0	0	±0
	埋立処分	0	0	0	0	0	±0
	合計	570,916	544,697	575,228	590,769	585,285	-5,484
移動量	下水道	303	99	94	124	144	+20
	廃棄物	1,069,090	1,506,607	2,844,303	1,706,585	1,837,640	+131,055
	合計	1,069,393	1,506,706	2,844,397	1,706,709	1,837,785	+131,076
排出量・移動量の合計		1,640,309	2,051,403	3,419,625	2,297,478	2,423,070	+125,592
届出事業所数		175	174	172	164	158	-6

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合があります。



## (1) 業種別の届出排出量・移動量

平成25年度から29年度の届出排出量・移動量の業種別経年変化は次のとおりです。

## 届出排出量・移動量の業種別経年変化

単位:kg/年

業種名	排出量・移動量の合計				
	H25	H26	H27	H28	H29
製造業	1,530,566	1,957,094	3,324,573	2,197,840	2,316,701
食料品製造業	135,130	111,410	130,630	124,790	139,700
木材・木製品製造業	8,380	7,240	8,470	8,470	9,070
家具・装備品製造業	190	—	—	—	—
化学工業	62,659	73,205	90,227	100,841	110,784
医薬品製造業	58,000	53,490	94,260	114,320	79,470
石油製品・石炭製品製造業	5,029	4,351	2,532	3,856	5,049
プラスチック製品製造業	84	89	100	88	90
窯業・土石製品製造業	461	540	482	486	447
鉄鋼業	863,956	1,275,679	2,566,141	1,367,689	1,481,700
非鉄金属製造業	27,140	20,941	25,812	21,765	31,771
金属製品製造業	180,141	175,039	174,423	169,447	172,853
一般機械器具製造業	172,010	221,340	212,220	267,550	269,050
電気機械器具製造業	790	390	2,020	—	—
輸送用機械器具製造業	11,796	12,840	12,256	12,438	12,317
医療用機械器具・医療用品製造業	4,800	540	5,000	6,100	4,400
電気業	0	0	0	0	23,000
熱供給業	—	—	—	0	—
下水道業	40,953	32,363	35,957	38,894	31,096
倉庫業	4,201	3,301	1,424	3,137	1,170
石油卸売業	—	0	0	0	139
燃料小売業	24,448	22,656	23,252	23,634	22,276
洗濯業	9,310	7,396	7,090	6,000	5,820
自動車整備業	12,343	9,564	12,779	11,312	6,391
機械修理業	—	0	—	—	—
商品検査業	5,302	4,001	2,001	2,001	2,001
計量証明業	—	1,048	—	—	—
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る。)	558	511	545	679	451
産業廃棄物処分量	0	0	0	0	0
高等教育機関	12,613	12,148	10,670	12,660	12,709
自然科学研究所	15	1,321	1,334	1,322	1,318
全業種合計	1,640,309	2,051,403	3,419,625	2,297,478	2,423,070

※ 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。

※ 表中「—」は当該年度に届出なしを示す。

(2) 届出排出量上位10物質

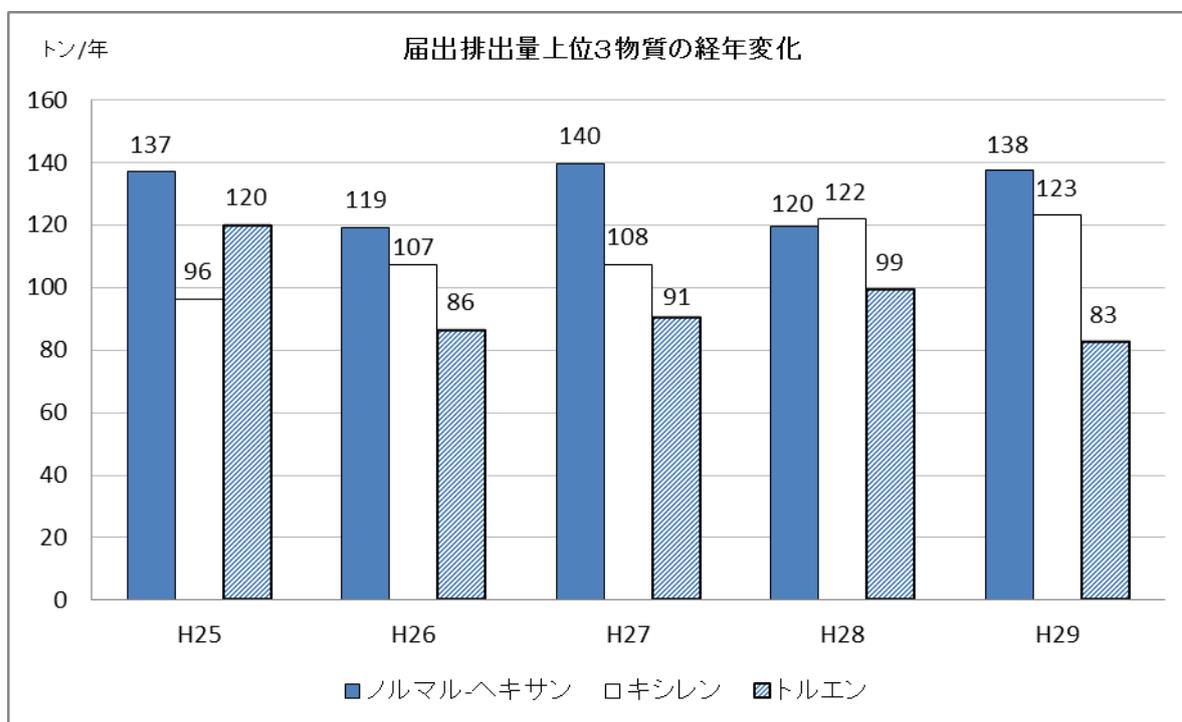
平成29年度分の届出排出量の上位10物質の合計は542トンで前年度より微かに増加しました。

物質別にみると、上位10物質中、ノルマル-ヘキサン、キシレン、HCFC-225などの5物質が前年度より増加、トルエン、ふっ化水素及びその水溶性塩、1,2,4-トリメチルベンゼンなどの5物質が前年度より減少しました。

届出排出量上位10物質の経年変化

順位	物質番号	物質名	届出排出量				
			H25	H26	H27	H28	H29
1	392	ノルマル-ヘキサン	137,122	119,418	139,910	119,699	137,664
2	80	キシレン	96,384	107,242	107,503	122,043	123,227
3	300	トルエン	120,065	86,474	90,527	99,286	82,526
4	185	HCFC-225	46,000	56,000	49,000	45,000	49,000
5	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	35,251	31,286	51,716	48,753	46,243
6	53	エチルベンゼン	37,290	53,132	39,184	39,314	43,288
7	296	1, 2, 4-トリメチルベンゼン	22,399	23,153	23,433	22,253	21,907
8	405	ほう素化合物	19,346	12,832	21,145	24,430	21,839
9	127	クロロホルム	1,759	4,232	6,333	15,160	10,162
10	349	フェノール	5,473	4,989	5,876	5,868	6,459
上位10物質の合計			521,089	498,758	534,627	541,806	542,315
市全体			570,916	544,697	575,228	590,769	585,285

※ 表中の順位は平成29年度の順位を基にしており、各年度の順位の実際とは異なる。平成29年度以外の上位10物質の合計は表中の物質の合計値である。



### (3) 届出移動量上位 10 物質

平成 29 年度分の届出移動量の上位 10 物質の合計は 1,735 トンで前年度より 169 トン増加しました。

物質別にみると、上位 10 物質中、クロム及び三価クロム化合物、キシレン、マンガン及びその化合物などの 9 物質が前年度より増加、トルエンのみが前年度より減少しました。

### 届出移動量上位 10 物質の経年変化

順位	物質番号	物質名	届出移動量				
			H25	H26	H27	H28	H29
1	87	クロム及び三価クロム化合物	530,361	890,320	2,100,663	1,000,570	1,100,520
2	80	キシレン	78,001	97,371	101,256	135,877	136,604
3	412	マンガン及びその化合物	130,750	95,640	111,660	100,560	130,550
4	308	ニッケル	67,944	17,681	74,231	102,322	108,118
5	232	N, N-ジメチルホルムアミド	34,701	40,482	52,802	58,202	61,902
6	439	3-メチルピリジン	30,001	35,001	41,002	45,002	52,002
7	53	エチルベンゼン	29,420	33,410	34,261	34,262	40,171
8	406	PCB	9,400	7,200	14,000	15,000	39,000
9	300	トルエン	49,393	39,042	45,943	48,423	35,248
10	374	ふっ化水素及びその水溶性塩	30,280	27,300	25,530	25,580	30,510
上位10物質の合計			990,251	1,283,447	2,601,348	1,565,798	1,734,625
市全体			1,069,393	1,506,706	2,844,397	1,706,709	1,837,785

※ 表中の順位は平成 29 年度の順位を基にしており、各年度の順位の実際とは異なる。平成 29 年度以外の上位 10 物質の合計は表中の物質の合計値である。

